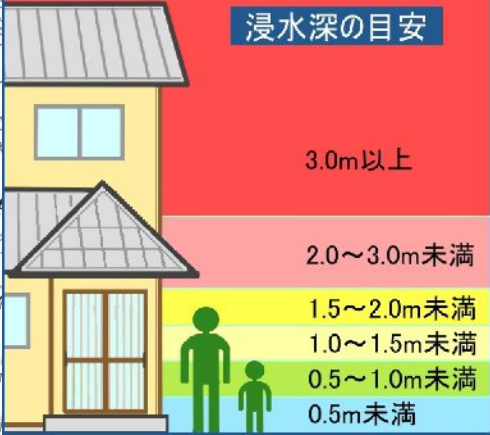


栗東市ため池ハザードマップ

稲荷池 (栗東市御園)

地震の発生後は、ため池決壊の恐れがあるので高いところなどに避難しましょう。

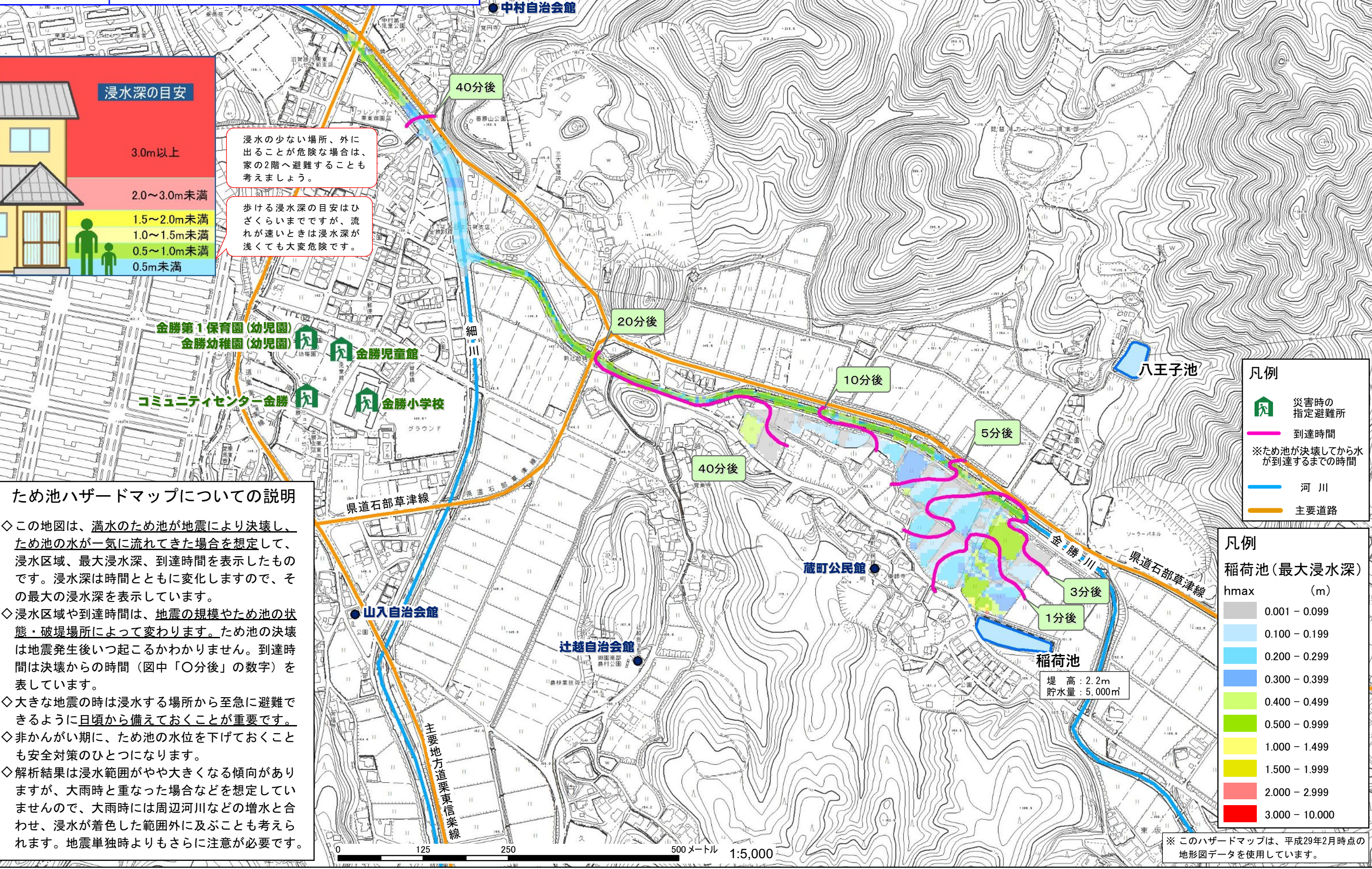


浸水の少ない場所、外に出ることが危険な場合は、家の2階へ避難することも考えましょう。

歩ける浸水深の目安はひざくらいまでですが、流れが速いときは浸水深が浅くても大変危険です。

ため池ハザードマップについての説明

- ◇この地図は、満水のため池が地震により決壊し、ため池の水が一気に流れてきた場合を想定して、浸水区域、最大浸水深、到達時間を表示したものです。浸水深は時間とともに変化しますので、その最大の浸水深を表示しています。
- ◇浸水区域や到達時間は、地震の規模やため池の状態・破堤場所によって変わります。ため池の決壊は地震発生後いつ起こるかわかりません。到達時間は決壊からの時間（図中「〇分後」の数字）を表しています。
- ◇大きな地震の時は浸水する場所から至急に避難できるように日頃から備えておくことが重要です。
- ◇非かんがい期に、ため池の水位を下げておくことも安全対策のひとつになります。
- ◇解析結果は浸水範囲がやや大きくなる傾向がありますが、大雨時と重なった場合などを想定していませんので、大雨時には周辺河川などの増水と合わせ、浸水が着色した範囲外に及ぶことも考えられます。地震単独時よりもさらに注意が必要です。



凡例

- 災害時の指定避難所
- 到達時間
※ため池が決壊してから水が到達するまでの時間
- 河川
- 主要道路

凡例

稲荷池(最大浸水深)

hmax	(m)
0.001 - 0.099	
0.100 - 0.199	
0.200 - 0.299	
0.300 - 0.399	
0.400 - 0.499	
0.500 - 0.999	
1.000 - 1.499	
1.500 - 1.999	
2.000 - 2.999	
3.000 - 10.000	

稲荷池
堤高: 2.2m
貯水量: 5,000m³

※このハザードマップは、平成29年2月時点の地形図データを使用しています。